



【校訓】 健康 誠実 協力

自分も周りの人も大切にし、笑顔あふれる龍田小学校をつくろう ～人と言葉と命を大切に～

5月の全校朝会では、「防災 自分の命は自分で守る」ことについてお話ししました。

始業式で、龍田小学校の教育目標をお話しました。覚えていますか。

そう、「自分も周りの人も大切にし、笑顔あふれる龍田小学校をつくろう」ですね。それを達成するために、「人と言葉と〇〇〇を大切に」というお話もしました。そう、「命を大切に」ですね。みなさんには、「自分の命は自分で守る」ようになってほしいです。今日は命を守るということについてお話をします。

皆さんの命が危なくなる時ってどんな時でしょうか。交通事故、病気、不審者、災害・・・たくさんの危機があります。その中でも防ぎようがない自然災害。自然災害はどんなものがありますか？ 大雨や洪水、台風、地・・・どれも危険です。



実は、12年前の平成24年7月15日、そう6年生が生まれた年に龍田でも大きな自然災害が起こりました。熊本市龍田陣内4丁目では白川から水が流れ込んで、家が流されたり壊れたり、2mを超える浸水被害に見舞われました。この災害で、熊本県内は死者23人もの被害を出しました。



では、みなさんにできる、命を守る方法はどんなものがあるのでしょうか。教室に防災頭巾を備えることで、地震の時に頭を守ることができます。上靴をきちんとはくと、窓ガラスが割れておちていても避難できます。普段から人の話を静かに聞くことができると、避難するとき指示が聞こえます。ハンカチを毎日

持って来ていると、いざ火事の時にも煙から身を守ります。普段から備えておけば、いざというときにすこしでも被害を軽くすることができます。



もしも大きな地震が起きたら・・・もしも洪水が起きたら・・・みなさんどうしますか。どうしようと困っているだけでは、自分の命は守れません。何かが起きた時に、自分がすることを決めておかなければいけません。そのために、学校でも自分の命を守る練習、避難訓練を行います。6月は、引き渡し訓練も行います。でも、学校では何回も練習することはできません。だから、日々、防災頭巾などを準備したり、上靴をきちんとはいたり、人の話を静かに聞いたり、ハンカチを準備したりすることが大事になってきます。「自分の命は？」そう「自分で守る」ですね。大切な命を自分で守れるようになり、「自分も周りの人も大切にし、笑顔あふれる龍田小学校」にしたいと思います。